

## 高齢社会と介護保険に関する調査 (訪問看護事業所及び訪問看護師アンケート)

### アンケート調査へのご協力をお願い

訪問看護師の皆様には、日ごろから行政へのご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、現在、加古川市では、高齢者福祉のいっそうの充実と介護保険制度の円滑な実施に向けて、高齢者福祉計画と介護保険事業計画の見直しを行っております。

このたび、この計画の見直しの基礎資料とするため、訪問看護師の皆様にはアンケート調査を実施することになりました。

皆様にご回答いただいた内容につきましては、この調査の目的にのみ使用するものであり、ご回答の内容を調査目的以外に使用したり、個人情報に他へ漏れるなど、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年2月

加古川市長 岡田康裕

### 【ご記入に関してのお願い】

1. このアンケートの対象者は、加古川市内で働いておられる訪問看護事業所及び事業所に属している訪問看護師の皆様です。
2. この調査は、令和2年1月1日現在の状況をお答えください。
3. ご記入いただいたアンケートは、2月25日(火)までに、加古川市高齢者・地域福祉課までご持参もしくは、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。
4. この調査についてわからないことがありましたら、下記へご連絡ください。

加古川市役所 福祉部 高齢者・地域福祉課  
電話:079-427-9715  
FAX:079-421-2063



## 1. 事業所についておたずねします。

※訪問看護事業所の代表者の人のおたずねします。

(訪問看護事業所の代表者以外の方は問5からお答えください。)

問1 令和2年1月1日現在、事業所に従事している訪問看護師は何人ですか。

(実人数を記入してください)

1. 常勤看護師	2. 非常勤看護師	3. 常勤准看護師	4. 非常勤准看護師
人	人	人	人

問2 令和元年12月の1ヶ月で何人の利用者を受け入れましたか。(実人数を記入してください)

_____人
--------

問3 現在の看護職員数で、あと何人の利用者を受け入れる余裕がありますか。(○はひとつ)

1. 10人以上	2. 5～9人	3. 1～4人	4. 受け入れ困難
----------	---------	---------	-----------

問4 現在、貴事業所では24時間対応の体制をとっていますか。(○はひとつ)

1. 加算を取っている	2. 加算を取っていないが対応している	3. 対応していない
-------------	---------------------	------------

## 2. アンケートを記入される人についておたずねします。

※ここからはすべての人がお答えください。

問5 あなたの性別を教えてください。(○はひとつ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問6 令和2年1月1日現在のあなたの年齢を教えてください。(○はひとつ)

1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上

問7 現在の勤務形態を教えてください。(○はひとつ)

1. 常勤	2. 非常勤
-------	--------

問8 あなたの臨床での経験年数を教えてください。(○はひとつ)

1. 5年未満	2. 10年未満	3. 20年未満	4. 20年以上
---------	----------	----------	----------

問9 あなたの訪問看護師としての経験年数を教えてください。(○はひとつ)

1. 1年未満	2. 1年以上3年未満	3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満	5. 10年以上	

### 3. 医療機関など関係機関との連携状況についておたずねします。

問 10 退院支援や調整をする中でどのようなことに困りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 退院調整のカンファレンスが開かれなかった
2. 病院からの説明が十分でなかった
3. 知りたいことが十分に聞けなかった
4. 急に退院が決まり、在宅での受け入れ準備を十分にできなかった
5. 本人、家族への説明が十分にされていなかった
6. 病院職員が、あまり介護保険サービスのことを理解していない
7. その他 ( )

問 11 医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがありますか。(○はひとつ)

1. 非常に思う
2. そう思う
3. そう思わない
4. 全く思わない

問 12 病院における退院前カンファレンスが開催される時には、参加していますか。

(○はひとつ)

1. 必ず参加している
2. ほぼ参加している
3. 時々参加している
4. 参加していない

問 13 退院時に、病院の主治医または連携担当者(地域連携室など)と円滑な連携がとれていますか。(○はひとつ)

1. 十分にとれている
2. ある程度とれている
3. あまりとれていない
4. とれていない

問 14 支援の過程で緊急時に医療機関(主治医)と連携を図る必要がある場合、連携が図れていますか。(○はひとつ)

1. 全く連携が図れていない →問 15 へ
2. あまり連携が図れていない →問 15 へ
3. ある程度連携が図れている →問 16 へ
4. 十分に連携が図れている →問 16 へ
5. 医療機関(主治医)と連携が必要なケースは少ない →問 16 へ

※問 14 で「1. 全く連携が図れていない」、「2. あまり連携が図れていない」と回答された人におたずねします。

問 15 連携が図れていない主な理由は何ですか。(○はひとつ)

1. 事業所の管理者を通じてでないと連絡がとれない
2. 医療機関に連絡を入れても、直接主治医と話ができない
3. 複数の医師が関わっており、どの医師に指示を得るかの判断が難しい
4. その他 ( )

**※全員におたずねします。**

問 16 利用者のケアプランなどについて居宅介護支援専門員と連携が図れていますか。

(○はひとつ)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 全く連携が図れていない →問 17 へ  |
| 2. あまり連携が図れていない →問 17 へ |
| 3. ある程度連携が図れている →問 18 へ |
| 4. 十分に連携が図れている →問 18 へ  |

**※問 16 で「1. 全く連携が図れていない」、「2. あまり連携が図れていない」と回答された人におたずねします。**

問 17 連携が図れていない主な理由は何ですか。(○はひとつ)

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 時間に余裕がない              | 2. 居宅介護支援専門員の協力がいない |
| 3. アプローチの仕方がわからない        | 4. 個人情報の保護の問題       |
| 5. 居宅介護支援専門員の在宅医療への理解が低い | 6. その他 ( )          |

**※全員におたずねします。**

問 18 利用者の服薬管理などについて薬局(薬剤師)と連携が図れていますか。(○はひとつ)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 全く連携が図れていない →問 19 へ           |
| 2. あまり連携が図れていない →問 19 へ          |
| 3. ある程度連携が図れている →問 20 へ          |
| 4. 十分に連携が図れている →問 20 へ           |
| 5. 薬局(薬剤師)と連携が必要なケースは少ない →問 20 へ |

**※問 18 で「1. 全く連携が図れていない」、「2. あまり連携が図れていない」と回答された人におたずねします。**

問 19 連携が図れていない主な理由は何ですか。(○はひとつ)

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. 時間に余裕がない            | 2. 薬局(薬剤師)の協力がいない |
| 3. アプローチの仕方がわからない      | 4. 個人情報の保護の問題     |
| 5. 薬局(薬剤師)の在宅医療への理解が低い | 6. その他 ( )        |

**※全員におたずねします。**

問 20 利用者の在宅での生活についてホームヘルパーと連携は図れていますか。(○はひとつ)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 全く連携が図れていない →問 21 へ           |
| 2. あまり連携が図れていない →問 21 へ          |
| 3. ある程度連携が図れている →問 22 へ          |
| 4. 十分に連携が図れている →問 22 へ           |
| 5. ホームヘルパーと連携が必要なケースは少ない →問 22 へ |

※問 20 で「1. 全く連携が図れていない」、「2. あまり連携が図れていない」と回答された人におたずねします。

問 21 連携が図れていない主な理由は何ですか。(○はひとつ)

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1. 時間に余裕がない            | 2. ホームヘルパーの協力が無い |
| 3. アプローチの仕方がわからない      | 4. 個人情報の保護の問題    |
| 5. ホームヘルパーの在宅医療への理解が低い | 6. その他 ( )       |

※全員におたずねします。

問 22 利用者の在宅での生活について地域包括支援センターと連携は図れていますか。  
(○はひとつ)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 全く連携が図れていない →問 23 へ              |
| 2. あまり連携が図れていない →問 23 へ             |
| 3. ある程度連携が図れている →問 24 へ             |
| 4. 十分に連携が図れている →問 24 へ              |
| 5. 地域包括支援センターと連携が必要なケースは少ない →問 24 へ |

※問 22 で「1. 全く連携が図れていない」、「2. あまり連携が図れていない」と回答された人におたずねします。

問 23 連携が図れていない主な理由は何ですか。(○はひとつ)

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 時間に余裕がない               | 2. 地域包括支援センターの協力が無い |
| 3. アプローチの仕方がわからない         | 4. 個人情報の保護の問題       |
| 5. 地域包括支援センターの在宅医療への理解が低い | 6. その他 ( )          |

※全員におたずねします。

問 24 今後、関係機関との連携を図るために必要なことは何だと思いませんか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                                          |
|------------------------------------------|
| 1. 医療関係者と介護関係者の情報交換の場の確保 (相互の顔の見える関係づくり) |
| 2. 地域ケア会議の充実・機能強化                        |
| 3. 在宅療養者の情報を共有するための統一的な様式の作成             |
| 4. その他 ( )                               |

4. 今後の在宅医療、在宅療養(看取りを含む)についておたずねします。

問 25 在宅での看取りを担当したことはありますか。(○はひとつ)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 担当したことがある →問 26 へ | 2. 担当したことはない →問 28 へ |
|----------------------|----------------------|

※問 25 で「1. 担当したことがある」と回答された人におたずねします。

問 26 在宅での看取りに対して、訪問看護師として不安や負担を感じたことはありますか。  
(○はひとつ)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 感じたことがある →問 27 へ | 2. 感じたことはない →問 28 へ |
|---------------------|---------------------|

**※問 26 で「1. 感じたことがある」と回答された人におたずねします。**

問 27 どのようなことに不安や負担を感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 急変時への対応
2. 自分の医療技術
3. 休日・夜間の対応に負担がある
4. 24 時間対応可能な医療機関が少ない
5. 主治医や居宅介護支援専門員など関係機関との連携がとりにくい
6. その他 ( )

**※全員におたずねします。**

問 28 利用者が在宅で最期を迎えたいという意思がある場合は、連携できる医師がいますか。

(○はひとつ)

1. いる
2. いない
3. 看取りの経験がないため、わからない

問 29 在宅医療を利用しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

1. 往診や訪問診療ができる医療機関を増やす
2. 在宅サービス（訪問系のサービス）ができる事業所を増やす  
※訪問系のサービス：訪問看護、訪問介護、訪問入浴介護など自宅で受けられるサービス
3. 夜間でも対応ができる介護サービス事業所を増やす  
※介護サービス事業所：介護保険を利用してサービスを提供している事業所全般
4. ショートステイで受け入れが可能な施設を増やす
5. 医療機関、薬局、介護事業所間で十分に情報共有ができること
6. 市民に、在宅医療の重要性や仕組みを知ってもらう
7. その他 ( )

問 30 要介護者が最期をむかえる場所として、どのような場所がふさわしいと考えていますか。

(○はひとつ)

1. 自宅（子どもの家など親族の家を含む）
2. 介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、グループホーム）
3. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅
4. 病院（療養病床を含む）
5. 考えていない
6. わからない

問 31 あなたは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP、人生会議)(\*)について、知っていますか。

(○はひとつ)

1. よく知っている
2. 聞いたことはあるがよく知らない
3. 知らない

**\*アドバンス・ケア・プランニング(ACP、人生会議)**

…人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また、繰り返し話し合う「アドバンス・ケア・プランニング(ACP、人生会議)」が重要と言われています。

問 32 このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。(○はひとつ)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 賛成である | 2. 反対である |
| 3. わからない |          |

問 33 ACP を実施したことがありますか。(○はひとつ)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. ある →問 34 へ | 2. ない →問 35 へ |
|---------------|---------------|

**※問 33 で「1. ある」と回答した人におたずねします。**

問 34 話し合ったことがある人は、いつごろでしたか。(○はひとつ)

- |           |            |            |            |
|-----------|------------|------------|------------|
| 1. 20 歳未満 | 2. 20～39 歳 | 3. 40～59 歳 | 4. 60～69 歳 |
| 5. 70 歳以上 | 6. その他     | 7. わからない   |            |

**※全員におたずねします。**

問 35 もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合う(人生会議を実践する)時期があるとすれば、いつごろが適切な年齢だと思いますか。(○はひとつ)

- |           |            |            |            |
|-----------|------------|------------|------------|
| 1. 20 歳未満 | 2. 20～39 歳 | 3. 40～59 歳 | 4. 60～69 歳 |
| 5. 70 歳以上 | 6. 年齢は関係ない | 7. その他 ( ) | 8. わからない   |

問 36 ACP をだれに対してするべきと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 健全な人                  |
| 2. 要介護・要支援認定を受けた人(申請する人) |
| 3. 人生の最終段階にある人           |

問 37 あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか(受けたくないか)などを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。(○はひとつ)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 賛成である | 2. 反対である |
| 3. わからない |          |

問 38 もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思いますか。(話し合ったことがある人は、何がきっかけでしたか。)(あてはまるものすべてに○)

- |                                               |
|-----------------------------------------------|
| 1. 誕生日                                        |
| 2. 結婚                                         |
| 3. 自身または配偶者の妊娠や出産                             |
| 4. 自分の病気                                      |
| 5. 退職                                         |
| 6. 還暦                                         |
| 7. 家族等の病気や死                                   |
| 8. 人生の最終段階についてメディア(新聞・テレビ・ラジオ)から情報を得たとき       |
| 9. 地域包括支援センターや医療関係者、介護サービス事業者による説明や相談の機会を得たとき |
| 10. その他 ( )                                   |



問 39 あなたは「かこリンク」を知っていますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

\* かこリンク

…高齢者の在宅での生活を支えるため、「1市2町在宅医療・介護連携支援センター(かこリンク)」を設置し、病院の地域連携室の医療ソーシャルワーカーやケアマネジャーの相談に応じたり、情報ツール(バイタルリンク、マップシステム)による情報共有・情報提供をしたりしています。

問 40 あなたは「在宅医療・介護連携支援事業」として、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 専門職による相談支援  
2. 地域の医療や介護の資源に関する情報提供  
3. 在宅医療と介護の関係者間の情報共有  
4. 在宅医療及び介護関係者への研修  
5. 市民に対する在宅医療や介護に関する情報の周知啓発  
6. その他 ( )

## 5. 認知症高齢者への支援についておたずねします。

問 41 今後、認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症への市民理解を深めるためのサポーター養成講座や講演会の開催  
2. 介護者のつどいの充実  
3. 相談会の充実  
4. 認知症の人の介護、対応方法など介護者向けの研修会の開催  
5. 医療・介護・地域が連携した早期発見・早期治療のしくみづくり  
6. かかりつけ医に対する研修  
7. 認知症の人を見守るボランティアなどのしくみづくり  
8. 認知症対応型グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備  
9. 若年性認知症に対する支援  
10. その他 ( )

問 42 加古川市では、認知症の人や家族を支援するために、市内の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置していますが、知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っている 2. 知らなかった

問 43 加古川市では、認知症の基礎知識や認知症の人への接し方を学ぶ「認知症サポーター(\*養成講座)」を開催していますが、知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っている 2. 知らなかった

\* 認知症サポーター

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族をあたたかく見守る応援者であり、認知症サポーター養成講座を受講した人のことです。講座修了者にはサポーターの証「オレンジリング」を授与します。講師役である認知症キャラバン・メイトを派遣し、企業や学校等で講座を開催していますが、平成24年度から子ども向け講座に力を入れており、小学校や中学校においても積極的に開催しています。

問 44 加古川市では、地域で認知症の方を見守るため、行方不明になる可能性のある方を日常から見守り、早期発見・早期保護するための「見守り・SOSネットワーク(\*)」を実施していますが、知っていますか。(〇はひとつ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

\*見守り・SOSネットワーク…行方不明のおそれのある認知症高齢者の所在が不明となった場合に、身近な地域で協力して高齢者を見守っていく取組みです。

居住地の担当地域包括支援センターで事前登録し、万一、所在不明となった場合に関係機関へ情報提供されるなど、早期発見・早期保護のため有効に活用されます。ただし、範囲が限られますので加古川警察署への捜索願の届出も必要です。

## 6. 成年後見制度についておたずねします。

問 45 成年後見制度について制度の概要を知っていますか。(〇はひとつ)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 知っている                 |
| 2. 既に利用している              |
| 3. 名前は聞いたことはあるが、概要はわからない |
| 4. 知らない                  |

問 46 あなたの担当している利用者で日常生活自立支援事業(福祉サービス利用支援事業)や成年後見制度を利用されている人はいますか。(すべてに人数を記入してください)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 日常生活自立支援事業を利用している (            人) |
| 2. 成年後見制度を利用している (            人)     |
| 3. 両方利用している (            人)          |
| 4. 利用(把握)していない (            人)       |

問 47 成年後見制度を利用することとなった動機は何ですか。  
(すべてに人数を記入してください)

- |                                              |
|----------------------------------------------|
| 1. 財産の管理、預貯金の払い出しや解約、保険金の受領 (            人)  |
| 2. 遺産分割協議 (            人)                    |
| 3. 裁判所の手続き(相続放棄、訴訟、調停、自己破産等) (            人) |
| 4. 交通事故の示談など (            人)                 |
| 5. 不動産処分 (            人)                     |
| 6. 身上監護 (            人)                      |
| 7. その他 (    人・その他の理由 _____ )                 |
| 8. 利用(把握)していない (            人)               |

問 48 あなたの担当している利用者で既に成年後見制度を利用している人を除き、制度を利用したほうが良いと思われる人はいますか。(すべてに人数を記入してください)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 利用したほうが良い (            人) |
| 2. 利用しなくてもいい (            人) |
| 3. 判断できない (            人)    |

問 49 問 48 で利用したほうが良いと思う理由はなんですか。(すべてに人数を記入してください)

- |                                           |
|-------------------------------------------|
| 1. 日々の金銭管理に困っている (            人)          |
| 2. 介護保険契約、施設入所契約ができない (            人)     |
| 3. 適切な医療が行えない (            人)             |
| 4. 訴訟手続きを抱えている(将来的なものも含む) (            人) |
| 5. その他 (            人・その他の理由_____ )       |

問 50 成年後見制度を利用すべきであるが、利用に至らない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                                                    |
|----------------------------------------------------|
| 1. 申立て手続きが煩雑で、利用までに時間がかかる                          |
| 2. 制度の利用等について本人や親族と協議ができていない                       |
| 3. 制度の利用について親族の同意を得られない                            |
| 4. 制度を利用するタイミングがわからない                              |
| 5. 申立人になる人がいない                                     |
| 6. どこに相談していいかわからない                                 |
| 7. 別のサービス、制度利用などにより対応できている<br>(具体的なサービス、制度名_____ ) |
| 8. その他 (_____ )                                    |

**質問は以上です。ご協力ありがとうございました。**

**アンケートは 2 月 25 日(火)までに、**

**同封している返信用封筒で返送もしくは、高齢者・地域福祉課までご持参ください。**